

# 渋沢栄一の「道徳経済合一説」

## 常任委員会合同研修

11/6 金

於 深谷市

美里町が紅葉に包まれる中、今年7月に開庁したばかりの深谷市新庁舎の最先端を誇る議場を視察させて頂きました。発言する議員をカメラが捕らえモニターに映し出し、1階ロビーでも議会傍聴ができます。インターネット配信もされているので自宅でも視聴が可能です。

傍聴席には子ども連れでも安心のボックス席が設けられています。さらに12月議会からタブレット端末を導入するとお聞きし、新しい技術に翻弄されながら新庁舎を後にしました。

次に、今、深谷市を訪ねたら必ず立ち寄るべき場所、渋沢栄一記念館を視察させて頂きました。明治から大正にかけて活躍し、「日本の資本主義の父」と呼ばれた実業家、渋沢栄一、彼が生涯をかけて追い続けた『道徳経済合一説』の理念をアンドロイドの渋沢栄一そっくりさんから講義を

受けました。

渋沢は、私利私欲ではなく公益を追求する『道徳』と、利益を求め『経済』が、事業において両立しなければならぬ、簡単にいえば事業をする上で、常に社会貢献や多くの人の幸せの実現といった公益を追求しながら、同時に利益を上げていくという理念です。

現在はどうでしょうか？ 渋沢のいう『道徳経済合一説』は過去のものとなり、儲かれば何でもありの『新自由主義』になっっていないでしょうか？ 生誕180年にあたる節目の年と一千万円の顔になる大きな機会に渋沢栄一の『道徳経済合一説』が見直されることに期待が膨らみます。

来春から始まる大河ドラマが楽しみです。

文教民生経済常任委員会  
委員長 堀越賢司



深谷市新庁舎「歴史遺産の継承」



渋沢栄一記念館



新庁舎議場



旧渋沢邸「中の家」